

野に咲く花の歴史

(番号は裏面の写真番号、
時代の色は花の色)

【農耕文化とともに日本に入ってきたと考えられている植物】

草花が初めて掲載されている時代と文献

- | | | |
|-----------|------|---|
| ①フキ | 平安初期 | 新撰字鏡、本草和名に和名「 ^{ふぶき} 布々岐」と掲載 |
| ⑫ハコベ | 平安初期 | 新撰字鏡、本草和名に和名「 ^{はくべら} 波久倍良」と掲載 |
| ⑬ナズナ | 平安初期 | 新撰字鏡、本草和名に和名「 ^{なずな} 奈都奈」と掲載 |
| ⑤(ハルノ)ノゲシ | 平安初期 | 本草和名に和名「 ^{つばひらくさ} 都波比良久佐」と掲載。葉の基部の様子が刀のつばが開いた形に見える |
| ⑧スギナ(ツクシ) | 平安中期 | 源氏物語に「つくづくし」と掲載 |
| ⑩ホトケノザ | 江戸中期 | 大和本草(1709)―諸品図(上)に佛座の挿絵が記載 |
| ⑭タネツケバナ | 江戸末期 | 本草鏡(1780頃)に掲載 |
| ⑦オニタビラコ | 江戸末期 | 本草綱目啓蒙(1805)などに名前が現れている |
| ③キュウリグサ | 江戸末期 | 備荒草木図(1833)に食べられると掲載 |
| ⑯ムシクサ | 江戸末期 | 草木図説(1856~62)に掲載 |

新撰字鏡(日本最古の漢和辞典 900年ころ)、本草和名(日本最古の薬物辞典 920年ころ)、大和本草(貝原益軒著作の日本最初の博物辞典)

【開国後に日本に入ってきたと考えられている植物】

草花が確認された時代と場所

- | | | |
|------------|------|---------------------|
| ②タチイヌノフグリ | 明治初期 | 明治3年ごろ東京で確認 |
| ④フラサバソウ | 明治初期 | 日本植物目録に明治7年長崎で採取と掲載 |
| ⑥ノボロギク | 明治中期 | 明治20年に確認 |
| ①オオイヌノフグリ | 明治中期 | 明治20年に東京で確認 |
| ⑨ヒメオドリコソウ | 明治中期 | 明治26年に東京駒場で確認 |
| ⑮オランダミミナグサ | 明治末期 | 明治43年に横浜で確認 |

<参考文献・情報> 野に咲く花(山と溪谷社)、野草の名前春(山と溪谷社)、日本古典全集 本草和名(現代思想新社)、大和本草(中村学園)、侵入生物データベース(独立法人国立環境研究所)、資料別・草木名初見リスト(慶応義塾大学日吉紀要・自然科学) No.45、植物雑学事典(岡山理科大学)

足元に古と季節を感じる!! 野に咲く花だより【春一号】

3月下旬から4月上旬に咲いている野の花の写真・場所・名前の由来・歴史を紹介してあります。観察の参考にしてお楽しみください。また4~5月以降に咲く花は【春二号】をご覧ください。

野に咲く花が見られる場所

園内は植物採取禁止です。ご協力
お願いします



【東京港野鳥公園ホームページ https://www.tptc.co.jp/park/03_08】

【東京港野鳥公園ボランティアガイドブログ <http://tokyokovg.seesaa.net/>】で
今観察できる野鳥、昆虫、植物の最新情報をいち早くお届けしています。ぜひご覧ください。



① **オオイヌノフグリ** ● ←花の色
 場所: 全域(A~H) 直径: 7-10mm
 特徴: 瑠璃色の4弁の花が咲き乱れる
 由来: イヌノフグリより大型。果実の形が犬の陰嚢に似ている(かわいそう?)



② **タチイヌノフグリ** ●
 場所: B 直径: 2mm
 特徴: 小さいが可愛いコバルトブルーの花
 由来: 茎がずっと立ち上がり、果実の形が犬の陰嚢に似ている(かわいそう?)



⑨ **ヒメオドリコソウ** ●
 場所: 全域(A~H) 長さ: 約10mm
 特徴: 赤紫色の葉と淡紅色の花が群生
 由来: 在来種のオドリコソウに似ていて小さいから(あまり似ていない?)



⑩ **ホトケノザ** ●
 場所: B, D 長さ: 約20mm
 特徴: 鮮やかな紅紫色の唇のよう
 由来: 茎をとりまく葉を仏が座る蓮座に見立てた(古人のセンスのよさに拍手)



③ **キュウリグサ** ●
 場所: A, B, C, G 直径: 2mm
 特徴: 淡青紫色の花の中心部が黄色
 由来: 葉をもむとキュウリに似た匂いがする(本当にキュウリでした!)



④ **フラサバソウ** ●
 場所: B, F, G 直径: 3-4mm
 特徴: 花はうす紫に濃い紫の筋。毛が多い
 由来: 発見した学者の名前フランシエとサバチエから(発見の記念?)



⑪ **フキ** ○
 場所: A, B, C, G
 特徴: 雄株は黄色い花、雌株は白色
 由来: 元気よく伸びる様子を表した(フキノトウからあつという間に伸びる!)



⑫ **ハコベ** ○
 場所: 全域(A~H) 直径: 6-7mm
 特徴: 茎が緑のミドリハコベ、赤のコハコベ
 由来: 名前は多くの文献に登場するが由来ははっきりとわかっていない



⑤ **ノゲシ (別名ハルノゲシ)** ●
 場所: D, H 直径: 約20mm
 特徴: 赤紫色の葉と淡紅色の花が群生
 由来: 葉がケシの仲間(アザミケシ)に似ている(古名の方がいい?裏面)



⑥ **ノボロギク** ●
 場所: B (道路沿い) 長さ: 約10mm
 特徴: 筒状の花が集まる。ぼとしない
 由来: 野原で見かけるので「ノ」。綿毛が綿のボロのよう(その通りだけど?)



⑬ **ナズナ (別名ペンペングサ)** ○
 場所: 全域(A~H) 直径: 3mm
 特徴: 三味線のばちに似た実、音
 由来: 諸説ある。撫でるように愛らしい(やはりペンペン草がぴったり?)



⑭ **タネツケバナ** ○
 場所: E, H 直径: 3-4mm
 特徴: 白い花と上に伸びる茶色の実
 由来: 種籾を水につける頃咲く(種漬) たねが飛び散る(種付)の2説



⑦ **オニタビラコ** ●
 場所: B 直径: 7-8mm
 特徴: まっすぐのびた茎先に黄色の花
 由来: タビラコに似ていて大型(田んぼではなく道ばたや空き地に生えます)



⑧ **スギナ (別名ツクシ)** ●
 場所: C
 特徴: みなさんよく御存じ
 由来: 袴の部分をちぎってつなぐ「つぎくさ」という遊びから(私もよくやりました)



⑮ **オランダミミナグサ** ○
 場所: B, E 直径: 約10mm
 特徴: 花弁の先が浅く裂けている
 由来: ヨーロッパ原産。葉をネズミの耳に見立てた(花じゃなくて葉ですか)



⑯ **ムシクサ** ○
 場所: E(あぜ) 直径: 1mm
 特徴: 田んぼの畔。本当に目立たない
 由来: ゾウムシの仲間が子房に虫こぶをつくることから(他になかった?)